16
イザヤ
聖徒伝 175
「へりくだって、
主の約束の
希望を知ろう」
イザヤ書34～35章　千年王国
Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

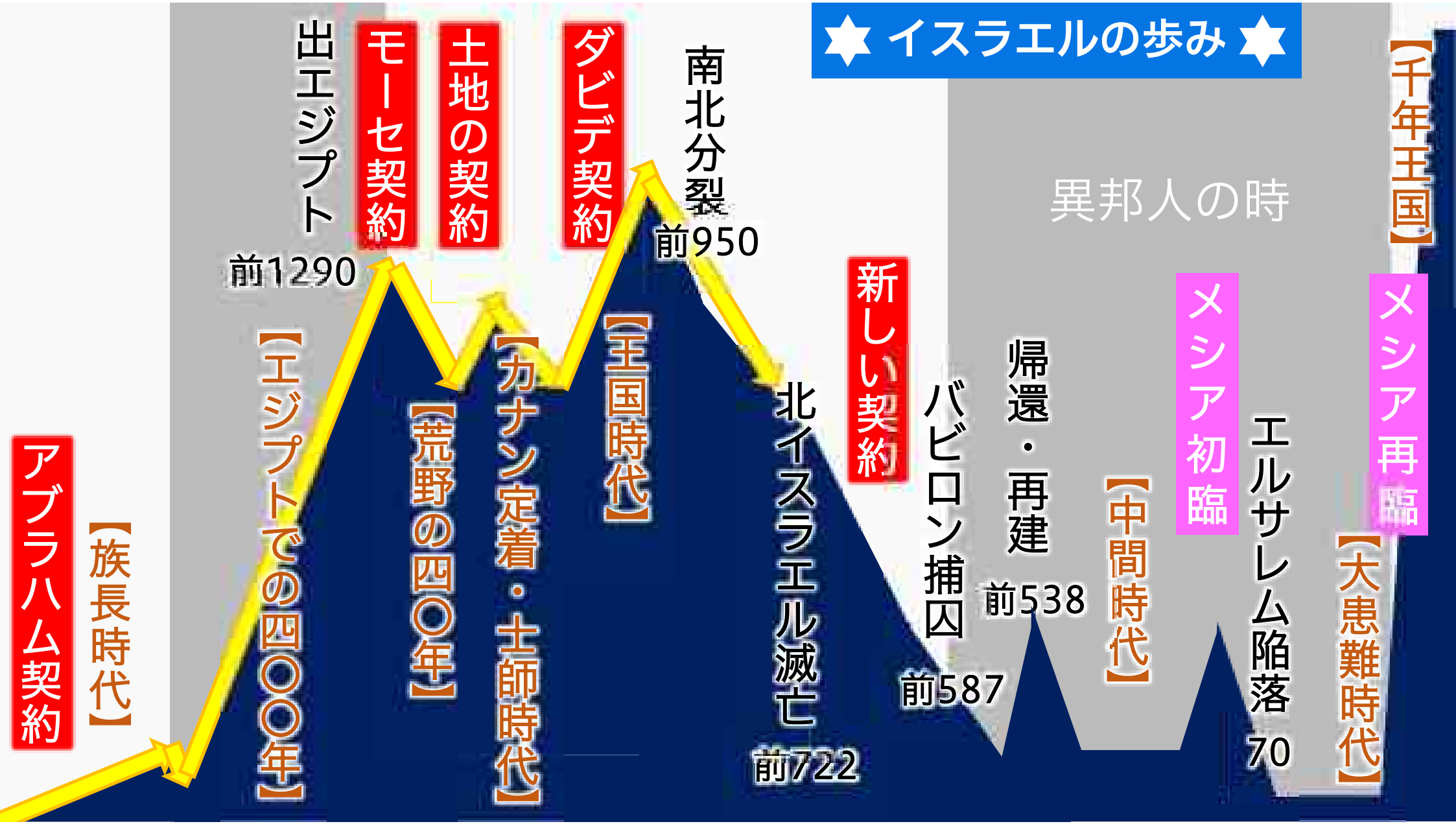
Ⅰ. ハルマゲドンの結末　34章

Ⅱ. 千年王国　35章

Ⅲ. まとめと適用

へりくだり、

神の約束に基づく希望を知ろう


イスラエルの歩み
【千年王国】
メシア再臨
【大患難時代】
メシア初臨
【中間時代】
異邦人の時
エルサレム陥落
70
帰還・再建
前538
バビロン捕囚
前587
新しい契約
北イスラエル滅亡
前722
南北分裂
前950
ダビデ契約
【王国時代】
【カナン定着・士師時代】
土地の契約
【荒野の四〇年】
モーセ契約
出エジプト
前1290
【エジプトでの四〇〇年】
【族長時代】
アブラハム契約

イザヤ書とは？

著者　…預言者イザヤ＝“ヤハウェは救い”

イザヤの活動　…エルサレムの都
60年間で4人の王に仕えた。

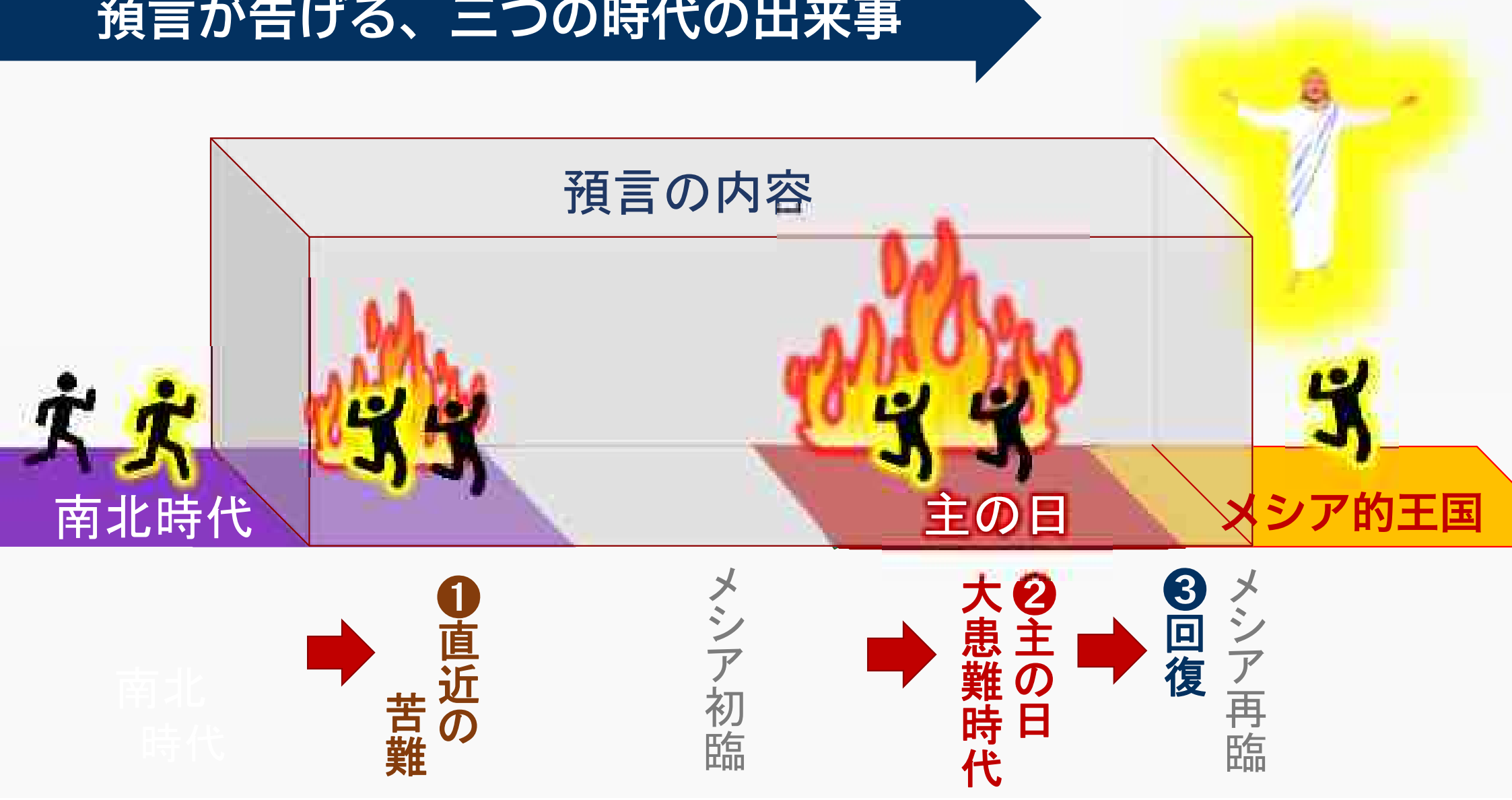
時代背景　…北王国の滅亡。アッシリアの脅威。

内容　…❶差し迫った危機の警告
❷世の終わりの裁き・大患難
❸イスラエルの最終的回復

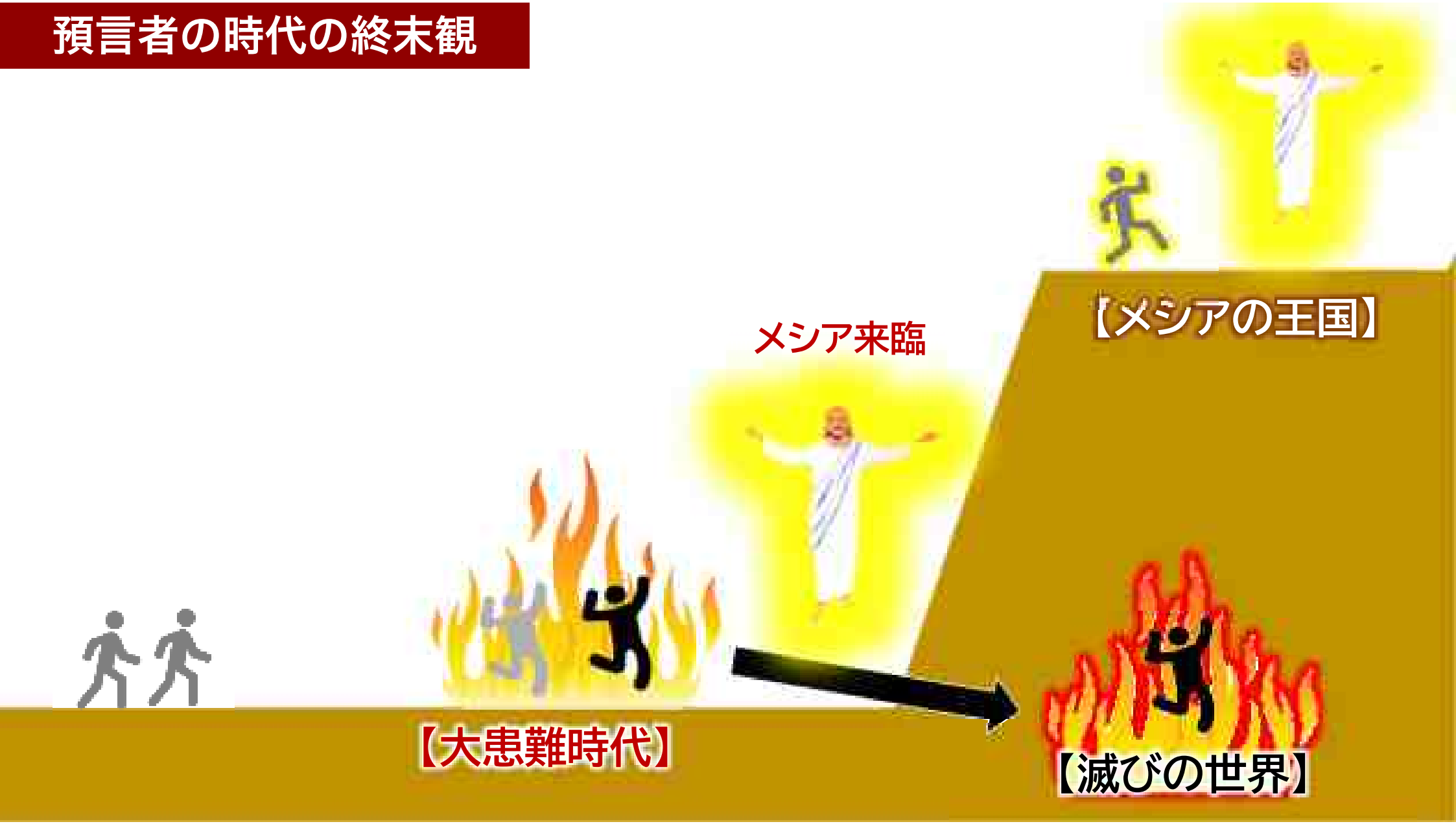
預言が告げる究極的な希望は、メシアによる神の王国

預言書は、どうしてむずかしい？

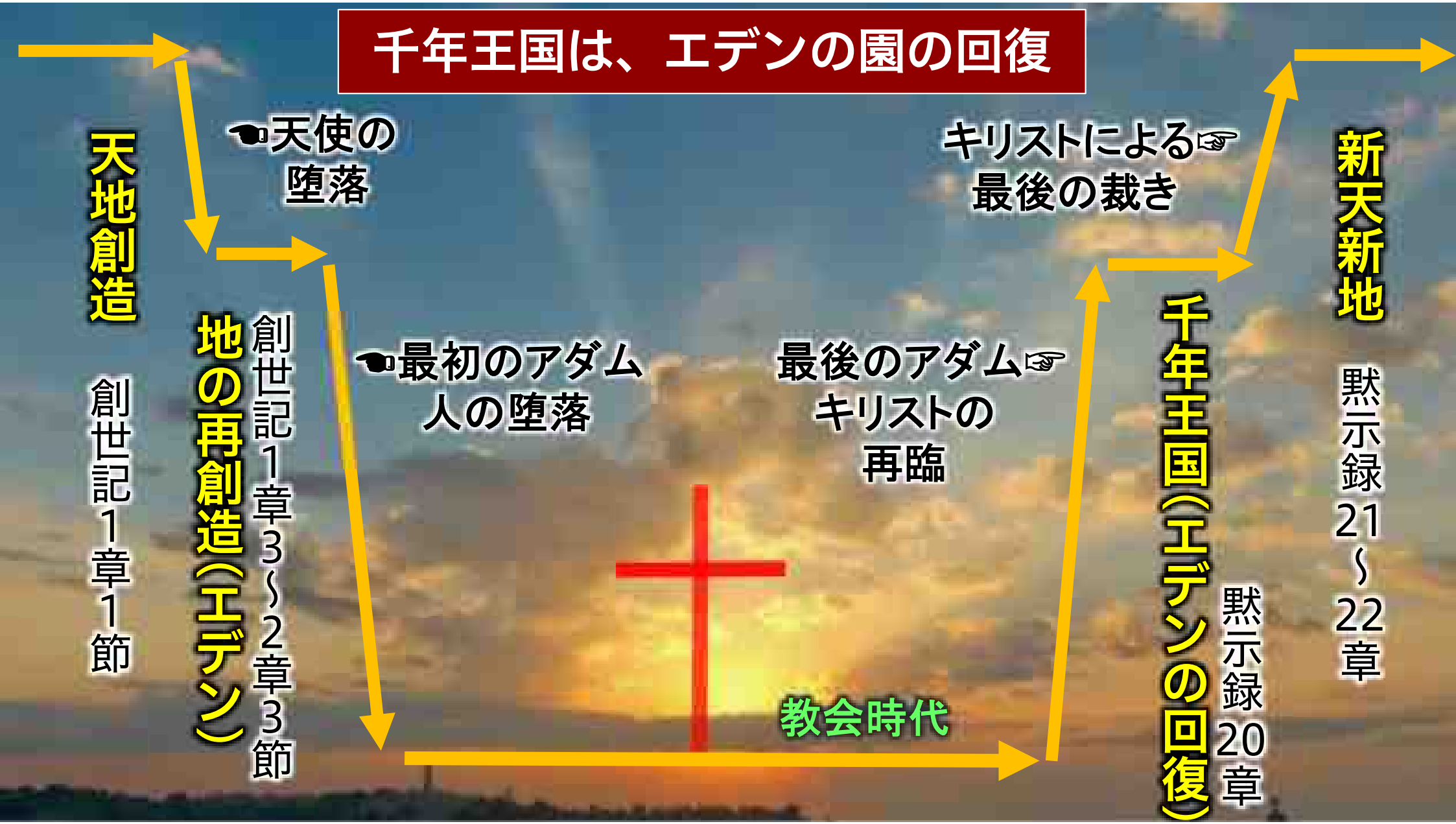
預言が告げる、三つの時代の出来事



預言者の時代の終末観



★黙示録の啓示★
【パラダイス】
【天上の礼拝】
【新天新地】
キリストの
再臨
【千年王国】
聖霊
降臨
教会の携挙
白い御座の
裁き
【ゲヘナ(地獄)】
【教会時代】
【大患難時代】
【シェオール(陰府)】


千年王国は、エデンの園の回復
天地創造
創世記1章1節
天使の堕落
地の再創造（エデン）
創世記1章3～2章3節
最初のアダム人の堕落
教会時代
最後のアダムキリストの再臨
キリストによる最後の裁き
千年王国（エデンの回復）
黙示録20章
新天新地
黙示録21～22章

神の王国(千年王国)とは？

- メシアが地上に建てる、神の国

- 千年間、サタンは陰府に閉じ込められる。
  復活の体を得た人々が、主イエスと共に統治。
  エルサレムが世界の中心となる。➡エデンの回復

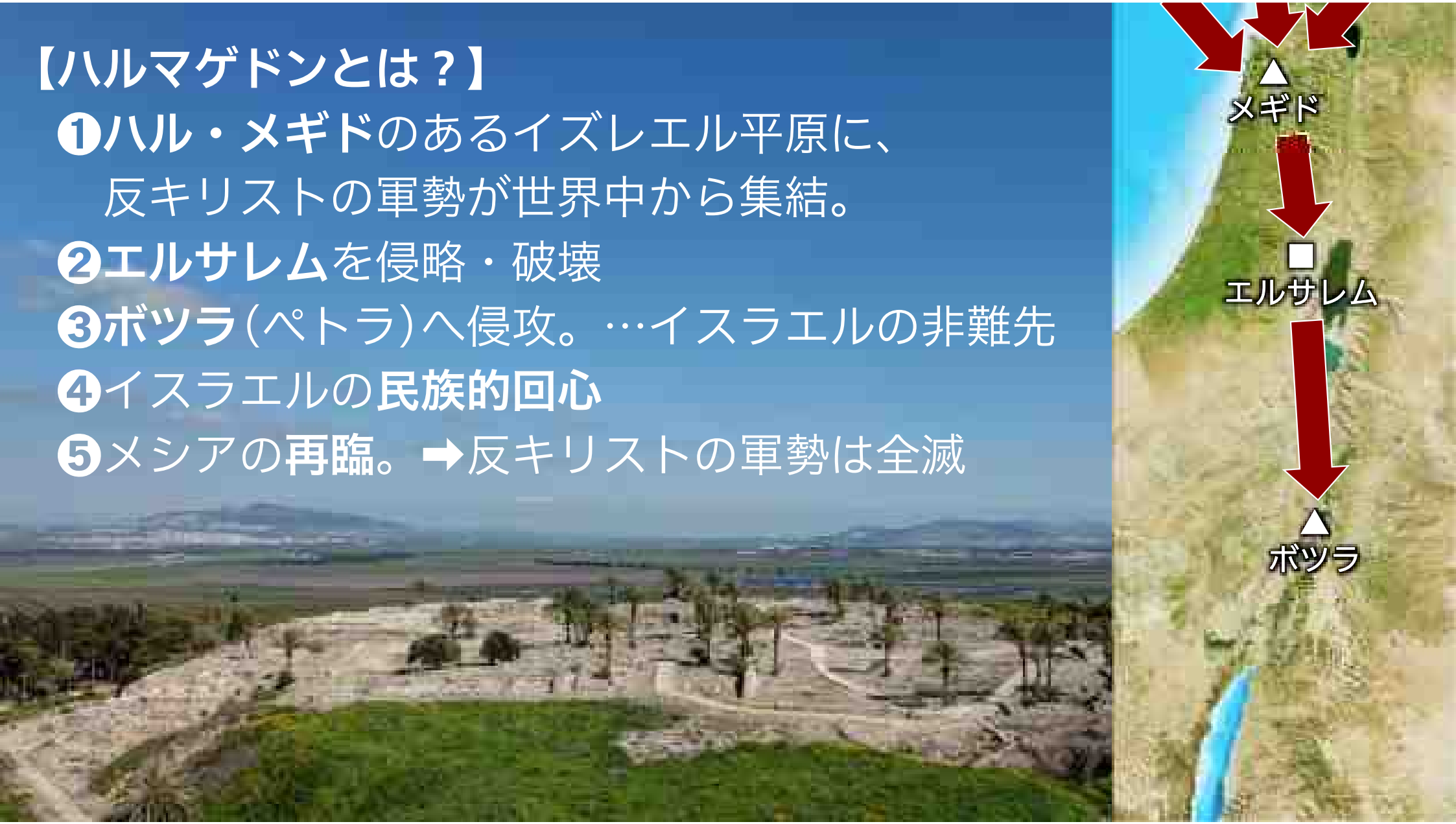
- 一部、荒廃した土地が象徴的に残る。
  肉体を持った人々が増え広がる。不信者もいる。

- 千年後、サタンが解放、罪人たちと最後の反乱。
  最終的裁きの後、新天新地へ。➡完全な回復

Ⅰ．ハルマゲドンの結末　　イザヤ書34章

ハル・メギド

主の日
天上の礼拝
主の日・大患難時代（7年間の裁き）
ハルマゲドン
教会時代
御国の時代
14万4千人による世界宣教
ユダヤ人大迫害
携挙
反キリストとイスラエルの契約
封印の裁き
ラッパの裁き
反キリストが契約破棄
鉢の裁き
イスラエルの民族的回心
メシア再臨


【ハルマゲドンとは？】
❶ハル・メギドのあるイズレエル平原に、
反キリストの軍勢が世界中から集結。
❷エルサレムを侵略・破壊
❸ボツラ（ペトラ）へ侵攻。…イスラエルの非難先
❹イスラエルの民族的回心
❺メシアの再臨。➡反キリストの軍勢は全滅
メギド
エルサレム
ボツラ

主の裁き　全ての民へ イザヤ34:1～2

国々*よ、近づいて聞け。諸国の民*よ、耳を傾けよ。地とそこに満ちているものよ、聞け。世界とそこから生え出たすべてのものよ。

【主】がすべての国*に向かって激しく怒り、そのすべての軍勢に向かって憤り、彼らを聖絶し、虐殺されるにまかされたからだ。

- 神の怒りは、すべての民*の上に注がれる。
  - ➡再臨のメシアが、悪と罪人を裁かれる。
    最終戦争（ハルマゲドン）の結末。

主の裁き　天変地異 イザヤ34:3～4

彼らの殺された者は投げ捨てられ、その死体は悪臭を放ち、山々はその血によって溶ける*。

天の万象は朽ち果て、天は巻物のように巻かれる*。その万象は枯れ落ちる*。ぶどうの木から葉が枯れ落ちるように。いちじくの木から実がしぼんで落ちるように。

＊殺された者の血で地が浸される（黙14:19～）

■苛烈な裁きと共に、世界も造り変え*られる。

主の裁き　聖絶の剣 イザヤ34:5

「まことに、天でわたしの剣は血に浸されている。見よ。これがエドム*の上に、わたしが聖絶*すると定めた民の上に下る。」

＊アッシリアが滅ぼしたエドムは、
　不信仰者の代表。
　　（神の契約を軽んじたエサウの子孫）

＊誰も指一本触れられない、神の裁きの対象。
　➡聖絶が命じられたエリコから略奪した
　　アカンは、彼自身、神に聖絶された。

主の裁き　大虐殺 イザヤ34:6

【主】の剣は血で満ち、脂肪で肥えている。
子羊とやぎの血、雄羊の腎臓の脂肪で。
【主】がボツラ*でいけにえを屠り、
エドムの地で大虐殺をされるからだ。

＊エドムのかつての都(ペトラ)
　イスラエルが反キリストから逃れる地
　　➡メシアが、反キリストの軍勢を滅ぼす。
　　そのため、ボツラは敵の大虐殺の地に。

ペトラの遺跡

主の裁き　主の復讐の日 イザヤ34:7～8

野牛は彼らとともに、雄牛は荒馬とともに倒れる。彼らの地には血が染み込み、その土は脂肪で肥える。

それは【主】の復讐の日*であり、シオンの訴えのために仇を返す年*だからだ。

＊神の民を虐げた者に、主が報いを返される。

- 大患難時代にイスラエルを迫害した者たち、反キリストと、その軍勢に、神の怒りの裁きがくだされる。

主の裁き　燃える廃墟 イザヤ34:9～10

エドムの川はピッチ*に、その土は硫黄に変わる。その地は燃えるピッチになる。

それは夜も昼も消えず、その煙はいつまでも立ち上る。そこは代々にわたって廃墟となり、もうそこを通る者はだれもいない。

＊石油精製の副産物、黒色の粘着性物質
　アスファルトも同様

- 千年王国の間、燃え続ける。
  - ➡象徴的に裁きの痕跡が残される？！
    生まれてくる人々への視覚教材？！

主の裁き　悪霊たち イザヤ34:11～12

ふくろう*と針ねずみ*がそこをわがものとし、みみずく*と烏*がそこに住む。主はその上に荒漠の測り縄を張り、空虚の重りを下げる。

そのおもだった人たちで、王権を宣言する*者は、そこにはいない。すべての首長たち*もいなくなる。

＊燃える地で生物は生きられない!!

➡このような動物に似た姿の**「悪霊」**？！

＊神の国にメシア以外の権威者は存在しない。

主の裁き　悪霊のすみか イザヤ34:13～14

その宮殿には茨が生え、要塞には、いらくさやあざみが生え、ジャッカル*の住みか、だちょう*の住む所となる。 荒野の獣*は山犬*に会い、野やぎ*はその友を呼ぶ。そこには夜の鳥*も憩い、自分の休み場を見つける。

＊前節同様、荒野に住む動物は悪霊だろう

＊“魔神、鬼神”

＊“リリット”(ここだけ)　…“魔女(リリス)”

➡後の時代に、悪魔と結びつけられる

主の裁き　悪霊のすみか イザヤ34:15

蛇*もそこに巣を作って卵を産み、それをかえして自分の陰に集める。鳶*もそれぞれ自分の伴侶と、そこに集まる。

＊**悪霊**のバージョンの一つ

- 千年王国の間、**サタン**は陰府に幽閉。
  - ➡バビロンとエドムには、**悪霊**がいる。
    地上で局地的に**悪霊**が働いている？！
- 千年王国で不信仰に至る者たちは、**悪霊**に影響される？！

エデンでも悪霊は活動していた!!

主の裁き　主の書物 イザヤ34:16

【主】の書物*を調べて読め。これらのもののうち、どれも失われていない。それぞれ自分の伴侶を欠くものはない*。それは、**主**の口がこれを命じ、**主の御霊**がこれらを集めた*からである。

＊預言書

＊個々の預言書が相互に補完し合っている。

＊聖書の内容はすべて、**神**によって命じられ、**聖霊**によって成就に導かれる。

主の裁き　約束の地 イザヤ34:17

主はこれらのもののためにくじを引き*、御手が測り縄で測って*彼らに分け与えた*ので、彼らはとこしえまでもこれを所有し、代々にわたってここに住む。

＊12部族それぞれの嗣業地を神が定めた。

- 主がアブラハムに約束されたすべての地をイスラエルが永遠に所有する。

Ⅱ．千年王国　　イザヤ書35章

手前からエジプト～シナイ～イスラエル

千年王国　土地の変容 イザヤ35:1～2

荒野と砂漠は喜び、荒れ地は喜び躍り、
サフランのように花を咲かせる。

盛んに花を咲かせ、歓喜して歌う。これに、
レバノンの栄光と、カルメルやシャロンの
威光が授けられるので、彼らは【主】の栄
光、私たちの神の威光を見る。

■南の荒野も、約束の地の北（レバノン）も、
カルメル（イズレエル平原）も、シャロン
（海岸沿い）も、全土が主の栄光に満ちる。

野生のサフラン

千年王国　メシアによる救い　イザヤ35:3～4

弱った手を強め、よろめく膝をしっかりさせよ。

心騒ぐ者たちに言え。「強くあれ。恐れるな。見よ。あなたがたの神*が、復讐*が、神の報い*がやって来る。神は来て、あなたがたを救われる。」

＊メシアが敵を裁き、イスラエルを救い出す。

■メシアによって、千年王国が建設される。

千年王国　救いの結果　イザヤ35:5～6

そのとき、目の見えない者の目は開かれ、耳の聞こえない者の耳は開けられる。

そのとき、足の萎えた者は鹿のように飛び跳ね、口のきけない者の舌は喜び歌う。荒野に水が湧き出し、荒れ地に川が流れるからだ。

- 初臨のメシアによって起こった。
  - ➡イエスの奇跡は、まさに神の国の前触れ、メシアの確かなしるしだった。
- 再臨のメシアによって完遂される。

あなたは確かにメシアか？　洗礼者ヨハネへのイエスの返答

マタイ福音書11章5〜6節

「目の見えない者たちが見、足の不自由な者たちが歩き、
ツァラアトに冒された者たちがきよめられ、
耳の聞こえない者たちが聞き、死人たちが生き返り、
貧しい者たちに福音が伝えられています。
だれでも、わたしにつまずかない者は幸いです。」

千年王国　聖なる道　イザヤ35:7～8

焼けた地は沢となり、潤いのない地は水の湧くところとなり、ジャッカルが伏したねぐらは葦やパピルスの茂みとなる。

そこに大路があり、その道は「聖なる道*」と呼ばれる。汚れた者はそこを通れない。これは、その道を行く者たちのもの。そこを愚か者がさまようことはない。

＊千年王国のイスラエルを縦断する
　都エルサレムに向かう大路

千年王国　永遠の帰還 イザヤ35:9～10

そこには獅子もおらず、猛獣もそこに上って来ることはなく、そこには何も見つからない。贖われた者たち*だけがそこを歩む。

【主】に贖われた者たち*は帰って来る。彼らは喜び歌いながらシオンに入り、その頭にはとこしえの喜びを戴く。楽しみと喜びがついて来て、悲しみと嘆きは逃げ去る。

＊救われたイスラエルの残れる信仰者たち

■神の王国でのイスラエルの民には、悲しみも嘆きもなく、楽しみと喜びがあるだけ。

Ⅳ. まとめと適用　へりくだり、神の約束に基づく希望を知ろう

ゴラン高原とヘルモン山

千年王国についてのふりかえり

- 千年王国の中心となるイスラエルには、大路があり、
  信仰者は、何の不安もなく、喜び歌い、エルサレムの都に上る。
  悲しみと嘆きは逃げ去り、永遠の喜びを人々は与えられる。

- 千年間、サタンは陰府に幽閉。
  反抗者の地バビロンとエドムは燃え続け、悪霊が棲みつく。
  ➡肉を持って生まれた者には、不信仰に陥り、死ぬ者もいる。

- アダムの罪によって破壊された、エデンの園の本来の平和が、
  メシアによって千年間保たれ、神の栄光が地上に回復される。

神の王国から、私たちの今を見つめよう

- 預言書も、福音書も、聖書が与える希望は、**終末的希望**。
  メシアによって回復される神の王国にこそ、本当の希望がある。

- 終末的希望を力に変えてくれるのが、聖書に記された**神の約束**。
  アブラハムとの約束を全うされる義なる神は、
  私たち、クリスチャンとの約束も確実に完全に成し遂げられる。

- 福音を信じ、神の永遠の所有とされた私たちは、
  神の王国に招き入れられ、死から解放された復活の体を与えられる。
  嘆きも悲しみも逃げ去り、永遠の喜びを私達は戴く。

神の永遠の視点をもって、目の前の試練に向き合おう

- イスラエルの残れる信仰者には、地上で絶えざる**苦難**があった。

- 「自分の十字架を負って、わたしに従ってきなさい」が、主の命令。
  教会時代の信者に確約されたのは、この世における**試練**と**苦難**。

- 大患難が近づく産みの苦しみの時代には、混乱も**苦難**も増していく。
  神の国の訪れ、神の義の実現を第一に求めて歩むなら、それでも、
  日々の必要は十二分に満たされていく。

- 世の人々と自分自身の罪の実態を知らされるほどに、
  笑いが**悲しみ**に、喜びは**憂い**に変えられていく。

逆転の恵みをもたらす、主の前でのへりくだり

ヤコブの手紙4章9～10節

嘆きなさい。悲しみなさい。泣きなさい。
あなたがたの笑いを悲しみに、喜びを憂いに変えなさい。

主の御前でへりくだりなさい。
そうすれば、主があなたがたを高く上げてくださいます。

■ヤコブは、預言者の視点で、恵みの本質を告げている。

打ち砕かれ、へりくだらされていくのが信仰者

- 人と自分の罪の現実を直視すれば、喜んではいられない。
  主を拒む人は、**罪**に蝕まれ、先に待つのは悲惨な**滅び**、それだけだ。

- それまであった笑いが悲しみに、喜びが憂いに変わるのが信者の道。
  悲しむべきことを**悲しみ**、憂うべきことをしっかりと**憂おう**。

- 作り笑いも、表面だけの穏やかな装いも、罪の現実の前には無益。
  むしろ、現実からの逃避が**罪**を肥大させ、人々を救いから遠ざける。

- 世に満ち溢れる**悲しみ**、**嘆き**、**絶望**の声に耳を傾けよう。
  そのただ中に私たちは遣わされている。あの預言者たちと同様に。

★　主の前にへりくだり、逆転の恵みで満たされていこう　★

「主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを
高く上げてくださいます。ヤコブ4:10」

■福音を信じて救われたのは、自分の**罪**を思い知らされたから。
信仰の成長もまた、**罪**の自覚の深まり、さらなる謙遜をもたらす。

■主の前にへりくだるほどに、**主の恵み**が私を満たしていく。
打ち砕かれるほどに、**主の愛**が胸の奥にまで染み渡っていく。

■謙遜に**御言葉**を学び、**御心**を受け取っていこう。
神の約束への確信の深まりが、真実の平安と力をもたらしてくれる。

「天のお父さま。わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

②墓に葬られ、

③三日目に復活したこと、を信じます。

罪と滅びの現実を前に、笑いは悲しみに、喜びは憂いに変わります。

自分の罪を突きつけられて、私の心は打ち砕かれていくばかりです。

しかし、主イエスは来られ、すべてを回復してくださいます。

悲しみ、嘆きは逃げ去り、私たちは、永遠の喜びを戴きます。

主の約束を深く知り、主の平和の使者として世に遣わしてください。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。　アーメン」